

平成30年1月18日

まちづくり委員会資料

陳情の審査（視察）

陳情第102号 川崎駅東口中央タクシー乗り場構内混雑改善
に関する陳情

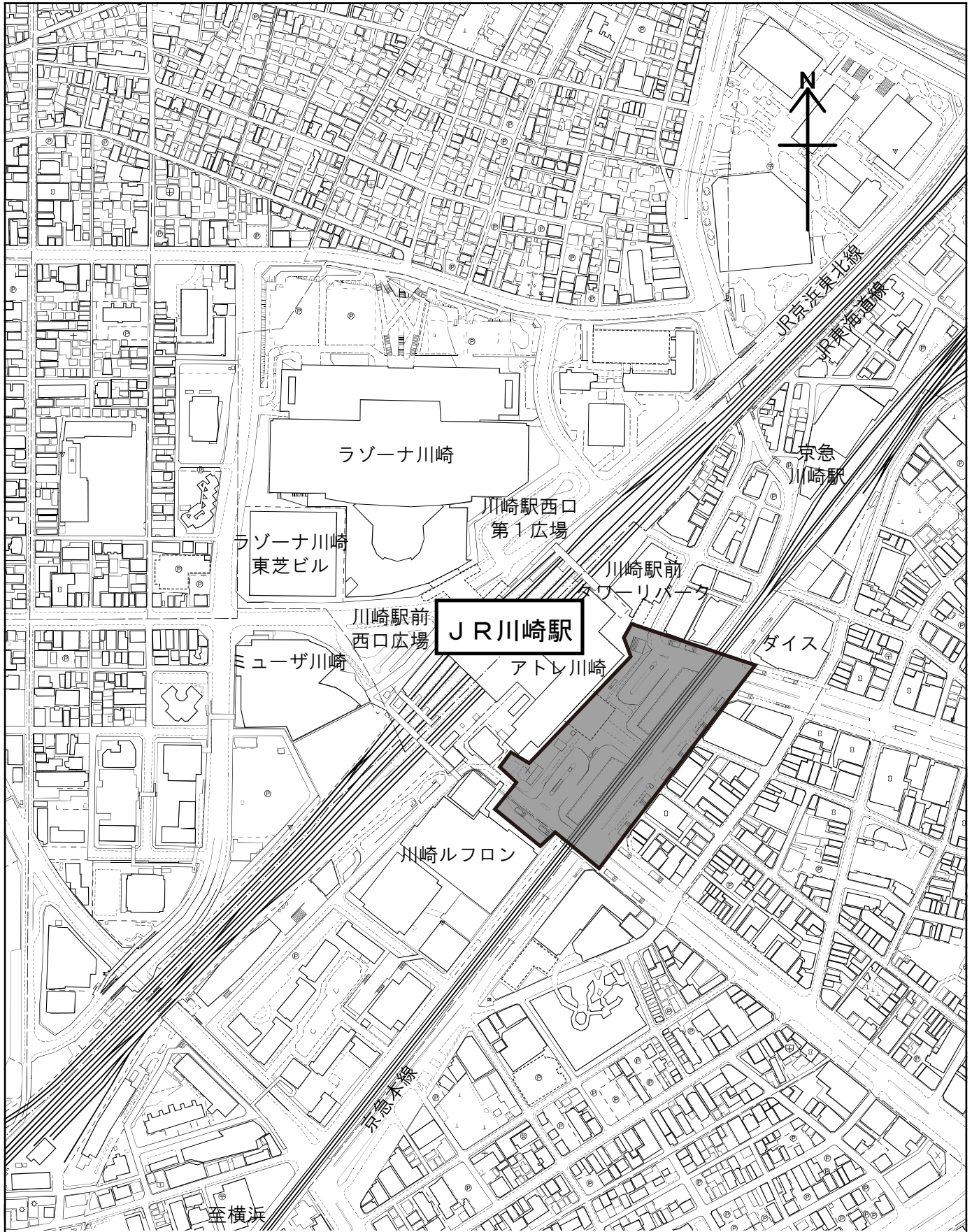
資料1 位置図

資料2 川崎駅東口駅前広場再編整備に関する概要

資料3 川崎駅東口駅前広場 現況図

まちづくり局

位置図



至横浜

至東京

至品川

至横浜

<凡例>

川崎駅東口駅前広場



位置：川崎区駅前本町地内
面積：30,900㎡

川崎駅東口駅前広場再編整備に関する概要

1 位 置 : 川崎区駅前本町地内

2 面 積 : 30,900 m²

3 再編整備の背景等

○昭和62年3月 当初の駅前広場完成

○完成後、約20年が経過し、様々な課題が顕在化

<駅前広場における主な課題>

- ・施設の老朽化
- ・歩行者と自動車を分離した動線
- ・バス乗り場が7つの島に分散している構造
- ・バス乗り場へは地下街から階段でアクセス
- ・既成市街地側へは、地下街又は広場を迂回
- ・歩行者の移動円滑化
- ・歩行者滞留空間が少ない



○平成16年7月 「川崎駅周辺総合整備計画策定協議会」を設置

○平成18年4月 『川崎駅周辺総合整備計画』策定

- ・川崎駅東口駅前広場再編整備を位置づけ

○平成21年6月 川崎駅東口駅前広場再編整備工事着手

○平成23年3月 再編整備工事完成

4 再編整備の概要

(1) 基本コンセプト

「バリアフリー」と「環境配慮」をキーワード

- ・川崎の顔となる景観にも配慮しながら、往来しやすく使い勝手の良い、賑わいとゆとりある空間を再編整備

(2) 整備内容

- ・バス乗り場を方面別に2つの島に集約
- ・バス乗り場や既成市街地へ平面で移動
- ・主要動線を屋根で接続
- ・エレベーター及びエスカレーターを増設
- ・広場中央にまとまりのある空間を配置
- ・環境技術の導入
- ・東西連絡歩道橋のバリアフリー化



